

第61回西日本医科学生総合体育大会 運営委員会の報告

運営委員長 江田 はるか

みなさん こんにちは。江田はるかです。

今年の西医体は 嵐のようにやってきて 嵐のように去っていった というのが正直なところの感想です。初日から重大な事故が起きてしまったり、台風が上陸したり、新型インフルエンザが流行したりと、西医体史上初と思えるパニックとなりました。琉大の先生方、各競技責任者、その他西医体に関わった全ての方々に多大なご迷惑とご心配をおかけしてしまいました。

個人的な話ではありますが、私自身は選手として水泳部に、マネージャーとしてサッカー部に所属しております。水泳競技は宮崎で開催されましたが、競技期間中もトラブル対応に追われほとんど応援にすら行けず、沖縄で開催されたサッカー競技に関しては、台風の影響による競技日程、試合会場の変更等は競技責任者任せとなってしまいました。西医体運営だけでなく、私自身の所属する部活にもたくさんの迷惑をかけてしまい、本当に申し訳なかったと感じております。

このようなトラブル続きの西医体で、予定通りとは行きませんが、ほぼ全ての競技でほぼ全ての試合をこなせたのは一重に私を支えてくださった皆様のおかげです。この場を借りて厚く御礼申し上げます。この西医体を終え、たくさんの課題を得ました。この課題を次年度以降に引き継ぎ、この歴史ある素晴らしい西医体を末永く続けていくため、ともに解決していきたいと思っております。

最後になりましたが、第61回西医体に関わってくくださった全ての皆様に感謝しております。たくさんの災難に見舞われましたが、たくさんの方々に出会い、支えていただきました。

本当にありがとうございました

副運営委員長 金本 栄美

みなさま西医体お疲れ様でした。今回、西医体運営に加わったことで、一見難しそうで成し遂げられそうにないことでも、みんなで力をあわせて一緒に頑張れば、私たちの思い描いたものに手が届くんだって、実感しまし

た。西医体にかかわったすべての人たちへ、ありがとうございました。そして運営委員会のみんなホントありがとうございます！みんなと一緒にいた時間は本当に幸せでした。一生忘れないわ。

競技委員長 小椋 奈緒

西医体の仕事に関わることで、今までにない体験ができました。初めてのことばかりで、戸惑いながら取り組みました。西医体が開催されるために、裏でこんなに沢山の人が携わっていることを初めて知りました。

大会準備中から、大会本番まで、西医体運営委員会のメンバー・沖縄県コンベンションビューローの方々・沖縄県中体連・高体連の方々・大学の先生方に大変お世話になりました。本当にありがとうございます。

副競技委員長 山城 千絵

大会を終えられて感無量です。副競技委員長として、仕事は大変でしたが、貴重な体験ができました。今後、西医体が末永く続くことを願っています。西医体運営委員会のメンバーのみんな、お疲れ様でした。

エントリー委員長 宇治宮 蒔

困った時もありましたが、これから社会人になってこの類の仕事をする際の良い経験になったと思います。社会勉強ですね。また逆に顔も知らない人から「主管大変だと思いますが頑張ってください！」と励ましのメッセージを頂いたときは何とも言えない嬉しい気持ちになれました。

最後になりましたが、お世話になった皆さん、本当にありがとうございました！

総務会計委員長 伊波 孝路

色々大変なこともありましたが、後々いい思い出になっていることと思います。さようなら第61回西医体……